

平成20年度

横浜市における石綿の健康リスク調査報告書

横浜市における石綿の健康リスク調査報告書

目次

1	目的	1
2	内容	
	(1) 調査対象者	1
	(2) 調査内容	1
	ア 横浜市における確認（問診及び登録）	1
	イ 検査	1
	ウ 医学的所見の確認	1
	エ 経過観察等	1
	オ データの解析	2
3	結果	
	(1) 調査協力者数	2
	(2) 調査協力者の医学的所見・ばく露歴の整理	2
4	まとめ	4
5	石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があるとされた者の診断経過について	4
6	今後の予定	4
7	参考・引用文献	4
	<資料>	
	表1	5
	表2	5
	A表	6
	B表	7
	C図	8
	表3	9
	<参考資料>	
	別添1 問診票	10
	別添2 受診券	12
	別添3 横浜市石綿ばく露健康リスク調査指定医療機関一覧	13
	別添4 横浜市石綿ばく露健康リスク調査専門委員会委員名簿	14

1 目的

一般環境を經由した石綿ばく露の可能性があったと思われる市民に対して、問診、胸部X線検査、胸部CT検査等を実施することにより、石綿ばく露の医学的所見である胸膜プラーク等の所見の有無や健康影響との関係に関する知見を収集し、石綿のばく露歴や石綿関連疾患の健康リスクに関する実態把握を行うとともに、市民への健康増進に資する。

2 内容

(1) 調査対象者

原則平成元年までに横浜市鶴見区に居住歴があり、石綿ばく露の可能性のある者。ただし、それ以外の者でも、石綿ばく露の可能性があれば調査対象に加えることを妨げないこととし、横浜市の広報等を通じて調査対象者の募集を行った。

また、平成19年度調査協力者についても、本調査でフォローすることとし、個別に調査通知を行った。

(2) 調査内容

ア 横浜市における確認（問診及び登録）

本調査の申し込みを行った者に対し、本調査事業の説明、調査協力に対する同意をとり、所定の問診票を用いた問診を実施した。調査登録台帳に登録を行うとともに、胸部X線検査、胸部CT検査等の精密診断を実施するにあたって医療機関への受診券を発行した。

また、(株) エアンドエーマテリアル（以下「エー社」という）が平成17年度以降に実施した検診の受診者についても本調査でフォローすることとし、上記と同様に実施した。

なお、既に胸部CT検査など精密診断を受けている場合は、本人の承諾を得て、実施医療機関より胸部X線及び胸部CTフィルムのコピーを入手した。

イ 検査

調査対象者は、横浜市が発行した受診券を指定医療機関（財団法人神奈川県予防医学協会、社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東部病院、独立行政法人労働者健康福祉機構横浜労災病院、神奈川県立循環器呼吸器病センター、公立大学法人横浜市立大学附属病院）に提出し、受診した。ここでは、胸部X線検査及び胸部CT検査を行った。

ウ 医学的所見の確認

「横浜市石綿ばく露健康リスク調査専門委員会」において読影を行った。

また、検査の結果については調査対象者に通知した。

エ 経過観察等（環境省指定の「医学的所見確認後の対応」に基づき判断した。）

経過観察を要する、次の【医学的所見確認後の対応】の②または④と判断された者については、1年後または半年後に受診券を発行し、指定医療機関において精密診断（胸部X線検査、必要に応じ胸部CT検査、病理組織検査等）を受けることとした。精密診断の内容及び必要性は、「横浜市石綿ばく露健康リスク調査専門委員会」で判断した。

なお、次の①、③及び⑤の対象者についても、できる限り調査対象者に同意を得た上で、経過等の把握に努めることとした。

【医学的所見確認後の対応】

- ① 石綿健康被害救済法等の法制度の該当となった者は、その時点で調査終了とする。
- ② 石綿ばく露に関する医学的所見が認められる者のうち、医療の必要がないと判断された者は、経過観察とする。
- ③ 石綿ばく露に関する医学的所見が認められる者のうち、医療の必要があると判断された者は、調査終了とするが、治療終了後に経過観察者に含めることは妨げない。
- ④ 石綿ばく露に関する医学的所見が認められない者のうち、医療の必要がないと判断された者は、経過観察とする。
- ⑤ 石綿ばく露に関する医学的所見が認められない者のうち、他の疾病により医療の必要があると判断された者は、調査終了とするが、治療終了後に経過観察者に含めることは妨げない。

オ データの解析

前記ア～エの一連の作業について、「横浜市石綿ばく露健康リスク調査専門委員会」において、医学的な観点から判断や検討を行った。

3 結果

(1) 調査協力者数

なお、【 】内は平成20年度に初めて本調査に参加した者を再掲した。

ア 問診及び胸部X線検査・胸部CT検査を受診又は資料提供した者	428名	【227名】
イ アのうち、平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者	358名	【173名】
(ア) イのうち、現在も横浜市鶴見区に居住している者	263名	【123名】
(イ) イのうち、平成17年以降のエー社検診受診者	32名	【2名】
ウ イ以外の者	70名	【54名】

協力者428名のうち、男性242名、女性186名であった。

また、協力者428名のうち、年齢構成別では、70歳代が最も多く32.7%で、60歳以上の者が68.5%であった。

指定医療機関別受診者数(表1) P5
年齢階層別ならびに検査項目別受診者数(表2) P5

なお、調査協力者の現居住地は、鶴見区在住272名、他区在住136名、市外在住20名(県内13名、県外7名)であった。

(2) 調査協力者の医学的所見・ばく露歴の整理

調査協力者の医学的所見・ばく露歴の整理については、環境省指定の注1～3の分類に従い図表A～Cに整理し、取りまとめた。

注1：医学的所見については、胸部X線検査および胸部CT検査の結果を踏まえ、石綿ばく露に関する医学的所見①～⑨を確認する。(重複含む)

- ① 胸水貯留が認められる者
- ② 胸膜プラーク(限局性の胸膜肥厚斑)が認められる者
- ③ びまん性胸膜肥厚が認められる者
- ④ 胸膜腫瘍の疑いが認められる者
- ⑤ 胸膜下曲線様陰影の疑いが認められる者
- ⑥ 肺野の間質影が認められる者
- ⑦ 円形無気肺が認められる者
- ⑧ 肺野の腫瘤状陰影が認められる者
- ⑨ リンパ節の腫大が認められる者

注2：ばく露歴については、該当するものにすべて●を記入(ア～オは重複含む)

- ア 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
- イ 直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
- ウ 家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者で作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
- エ 職域以外で石綿取扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
- オ 上記ア～エ以外のばく露の可能性が特定できないもの(居住地や学校・職場等の周辺に石綿取扱い施設がある場合も含む)

注3：ばく露歴分類については、各事案のばく露要因を1つに分類するもの。なお、複数のばく露歴がある者については、基本的には下記に従うものとする。

- ア 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
 - イ 上記アに該当せず、直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
 - ウ 上記ア～イに該当せず、家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者で作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
 - エ 上記ア～ウに該当せず、職域以外で石綿取扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
 - オ 上記ア～エに該当しないもの
- 上記以外による分類が適当であると考えられる場合や判断が困難な場合には、症例番号と具体的な内容を記入し、具体的な分類については環境省と相談した。

- A表：平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者のばく露歴集計表、ばく露歴及び年齢階層別分類表・・・P6
- B表：平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者に関するばく露歴と石綿ばく露に関する医学的所見・年齢階層・状況のクロス集計表・・・P7
- C図：平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者でばく露歴分類が「オ その他」の者に関するプロット図・・・P8

4 まとめ

調査協力者428名のうち、平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者358名については次のことが確認された。

(1) 調査協力者358名を環境省指定のばく露歴分類別に見ると、次のとおりであった。

なお、【 】内は平成20年度に初めて本調査に参加した者を再掲した。

ア 直接石綿を取り扱っていた職歴のある者	82名【40名】
イ 直接ではないが職場で石綿ばく露した可能性のある者	31名【19名】
ウ 石綿を家庭内に持ち込むことによってばく露した可能性のある者	23名【15名】
エ 職域以外で石綿取扱い施設等に立ち入り経験のある者	37名【16名】
オ その他ばく露歴が特定できない者	185名【83名】

(2) 調査協力者358名のうち、石綿ばく露に関する所見として「胸膜プラーク」が認められた者は65名(18.2%)であった。

この65名をばく露歴別に見ると、下記のとおりであった。なお、【 】内は平成20年度に初めて本調査に参加した者を再掲した。

また、平成19年度に経過観察者となった260名のうち、平成19年度より継続して調査に協力している者が185名(71.2%)であり、今年度初めて胸膜プラークが確認できた者が2名いた。そのうち1名はばく露歴ア、他の1名はばく露歴オであった。

ア 直接石綿を取り扱っていた職歴のある者	31名(37.8%)【14名(35.0%)】
イ 直接ではないが職場で石綿ばく露した可能性のある者	9名(29.0%)【7名(36.8%)】
ウ 石綿を家庭内に持ち込むことによってばく露した可能性のある者	1名(4.3%)【1名(6.7%)】
エ 職域以外で石綿取扱い施設等に立ち入り経験のある者	10名(27.0%)【1名(6.3%)】
オ その他ばく露歴が特定できない者	14名(7.6%)【3名(3.6%)】

(3) 今回調査の方の中で、石綿に起因すると考えられる疾患「石綿肺」と判断される者が1名いた。この調査協力者は、平成20年度に初めて本調査に参加した者で、直接石綿を取り扱っていた職歴のある者であった。後に石綿健康管理手帳を取得したため、本調査終了となった。

5 石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があると判断された者の診断経過について

平成19年度以前の石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があると判断された者がその後、医療機関でどのような診断を受けているのか確認するため、本人から承諾を得て医療機関に照会を行う予定であったが、平成19年度の石綿の健康リスク調査に参加された方に対象者はいなかった。結果は表3(P9)に取りまとめた。

6 今後の予定

次年度以降においても、新規の調査対象者の募集を行うとともに、今年度受診した者についても経過観察を進める。さらに、調査終了となった者の経過等の把握にも努め、データの更なる蓄積を図っていく。

また、調査協力者で経過観察となった者については、医学的判断に基づいた必要な検査を受ける事で健康管理に活用してもらうこととする。

7 参考・引用文献

- ・「アスベストと中皮腫」篠原出版新社
亀井敏昭、石川雄一、三浦溥太郎、井内康輝、森永謙二編著
- ・「石綿ばく露と石綿関連疾患 基礎知識と補償・救済」三信図書
森永謙二編

表1 指定医療機関別受診者数

指定医療機関名	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
神奈川県予防医学協会	139	32.5%	84	34.7%	55	29.6%
済生会横浜市東部病院	218	50.9%	124	51.2%	94	50.5%
横浜労災病院	35	8.2%	18	7.5%	17	9.1%
横浜市立大学附属病院	3	0.7%	1	0.4%	2	1.1%
神奈川県立循環器呼吸器病セン	2	0.5%	0	0.0%	2	1.1%
その他	31	7.2%	15	6.2%	16	8.6%
合計	428	100.0%	242	100.0%	186	100.0%

* その他は、胸部X線検査及びCT検査のいずれもせず、フィルム取り寄せ(指定医療機関含む)により対応した人数

表2-1 年齢階層別受診者数

年齢区分	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
20～29歳	1	0.2%	1	0.4%	0	0.0%
30～39歳	17	4.0%	9	3.7%	8	4.3%
40～49歳	52	12.2%	23	9.5%	29	15.6%
50～59歳	65	15.2%	27	11.2%	38	20.4%
60～69歳	130	30.4%	74	30.6%	56	30.1%
70～79歳	140	32.7%	91	37.6%	49	26.4%
80～89歳	22	5.1%	17	7.0%	5	2.7%
90～99歳	1	0.2%	0	0.0%	1	0.5%
合計	428	100.0%	242	100.0%	186	100.0%

* 平成21年3月31日現在

表2-2 検査項目別受診者数

受診内容	合計	
	(人)	(%)
問診+胸部X線+胸部CT	248	57.9%
問診+胸部X線のみ	143	33.4%
問診+胸部CTのみ	6	1.4%
問診のみ	31	7.3%
合計	428	100.0%

* 平成21年3月31日現在

- * 問診+胸部X線のみ: 胸部CTは他医療機関にて実施済みの画像コピーを取得した者
平成19年度からの継続参加者においては、専門委員会による指定の検査項目が胸部X線のみのも者
- * 問診+胸部CTのみ: 胸部X線は他医療機関にて実施済みの画像コピーを取得した者
- * 問診のみ: 胸部X線及び胸部CTは他医療機関にて実施済みの画像コピーを取得した者
平成19年度からの継続参加者においては、専門委員会による指定の検査項目が胸部X線のみのも者、
または胸部X線及び胸部CTのも者で、他医療機関にて実施済みの画像コピーを取得した者

A表 平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者のばく露歴集計表、 ばく露歴及び年齢階層別分類表

A-1 平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者のばく露歴集計表

	ア.直接職歴あり	イ.間接職歴あり	ウ.家庭内ばく露あり	エ.立入・屋内環境ばく露あり	オ.その他	小計	うち女性
●						4	0
●		●				0	0
●			●			0	0
●				●		0	0
●					●	55	4
●		●	●			1	0
●		●		●		0	0
●		●			●	6	0
●			●	●		0	0
●			●		●	5	0
●				●	●	9	1
●		●	●	●		0	0
●		●	●		●	0	0
●		●		●	●	1	0
●			●	●	●	1	0
●		●	●	●	●	0	0
		●				1	0
		●	●			0	0
		●		●		0	0
		●	●		●	24	5
		●	●	●		0	0
		●	●		●	2	2
		●		●	●	2	1
		●	●	●	●	2	0
			●			1	1
			●	●		0	0
			●		●	20	16
			●	●	●	2	2
				●	●	1	0
				●	●	36	20
					●	185	119
計*	82	39	34	54	350	358	171
うち女性*	5	8	21	24	170		

* 縦計については重複計上

A-2 平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者のばく露歴及び年齢階層別分類表

年齢別	計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	15	7	3	0	1	0	2	2	2	1	7	4
40～49歳	45	27	4	1	2	0	3	3	5	4	31	19
50～59歳	58	34	11	2	5	2	4	2	6	3	32	25
60～69歳	111	50	28	1	9	4	10	8	11	7	53	30
70～79歳	109	48	31	1	9	0	4	4	11	5	54	38
80～89歳	20	5	5	0	5	2	0	0	2	0	8	3
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	358	171	82	5	31	8	23	19	37	20	185	119

**B表 平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者に関する
ばく露歴と石綿ばく露に関する医学的所見・年齢階層・状況のクロス集計表**

B-1 平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者の石綿ばく露に関する医学的所見①～⑨について
(①～⑨は重複計上含む)

	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
石綿関連所見実人数	65	18	31	1	9	1	1	1	10	6	14	9
①胸水貯留あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②胸膜プラークあり	65	18	31	1	9	1	1	1	10	6	14	9
③びまん性胸膜肥厚あり	3	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0
④胸膜腫瘍疑いあり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤胸膜下曲線様陰影あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥肺野間質影あり	5	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0
⑦円形無気肺あり	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧肺野の腫瘍状陰影あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨リンパ節の腫大あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤または⑥が確認された者の実人数	5	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0

B-2 平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者の石綿ばく露に関する医学的所見が見られた者の年齢階層別分類表

①胸膜プラーク

年齢別	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	5	1	2	0	1	0	0	0	1	1	1	0
60～69歳	21	6	10	0	2	0	0	0	5	4	4	2
70～79歳	32	8	15	1	5	0	1	1	4	1	7	5
80～89歳	7	3	4	0	1	1	0	0	0	0	2	2
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	65	18	31	1	9	1	1	1	10	6	14	9

②びまん性胸膜肥厚

年齢別	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
80～89歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0

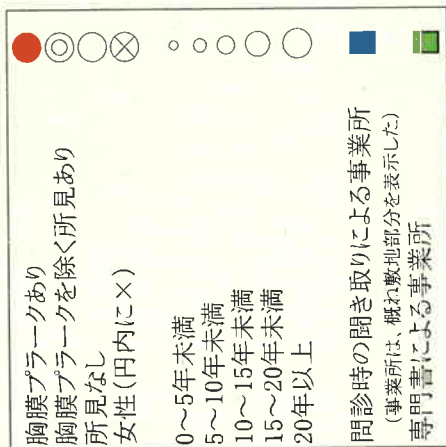
⑤胸膜下曲線様陰影または⑥肺野間質影

年齢別	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	3	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
80～89歳	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0

B-3 平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた調査対象者の状況

年齢別	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
経過観察者	350	169	76	5	31	8	23	19	37	20	183	117
調査終了者	8	2	6	0	0	0	0	0	0	0	2	2
合計	358	171	82	5	31	8	23	19	37	20	185	119

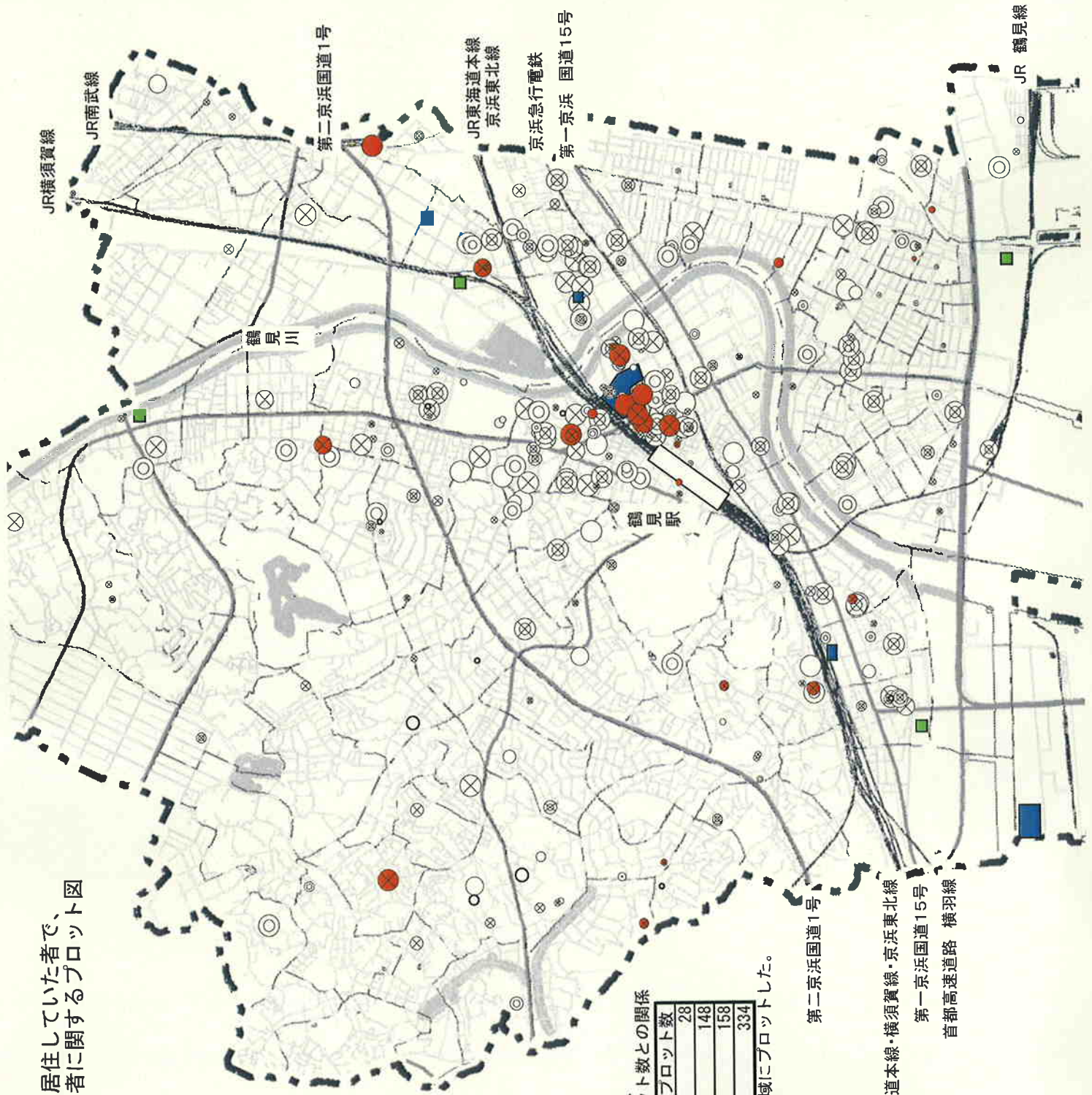
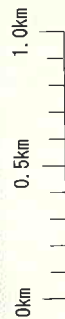
C図：平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者で、
ばく露歴分類が「オ その他」の者に関するプロット図



平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者で、
ばく露歴分類が「オ その他」の者に関するプロット数との関係

	プロット対象者数	プロット数
胸膜プラークあり	14	28
胸膜プラークを除く所見あり	79	148
所見なし	92	158
合 計	185	334

注：複数地域に居住歴のある者は、それぞれの地域にプロットした。



第二京浜国道1号
JR東海道本線・横須賀線・京浜東北線
第一京浜国道15号
首都高速道路 横羽線

JR 鶴見線

表3 石綿の健康リスク調査参加し、医療の必要があると判断された者の
診断経過について

平成19年度に健康リスク調査へ参加し、医療の必要があると判断された者のその後の診断経過

	計	うち 女性	ア.主に 直接職 歴	うち 女性	イ.主に 間接職 歴	うち 女性	ウ.主に 家庭内 ばく露	うち 女性	エ.主に 立入・屋 内環境 ばく露	うち 女性	オ.その 他	うち 女性
対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿関連疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
a 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b 肺がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
c 石綿肺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
d 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

横浜市一般環境経路による石綿ばく露健康リスク調査問診票

電話番号

※本様のみ記入してください。

フリガナ	明・大・昭・平	年	月	日	生	歳
氏名	男・女	年	月	日	生	歳
現住所	〒	電話番号				

あてはまる番号や□に印をつけてください。また、空欄はご記入ください。

この調査は、国の石綿対策における有用な資料となります。
本調査票の内容について、国及び実施自治体において個人情報情報が特定されない形で利用することに同意していただけますか。
 同意する 同意しない

問1. この健康リスク調査を受ける理由はなんですか。(○をつけてください。)

- (1) 自分または家族が石綿を扱う仕事をしていました。
- (2) 石綿を扱う場所の近くに住んでいました。
- (3) 仕事以外で、身の回りにおいて石綿(製品、材料など)を扱うことがあった。
- (4) その他()

問2. あなたのこれまでの居住歴について、右のページの「居住歴」欄に記入してください。

問3. 本人の現在までの通学歴・職歴及び石綿を扱っていたご家族の現在までの職歴を別紙調査票「①本人の通学歴」②本人の職歴、③家族の職歴」欄に記入してください。

問4. 仕事以外で石綿を吸い込んだ可能性はありますか。

- ある (その場所とその時の状況)
- なし わからない

問5. 現在までに、肺の病気がかかったことがありますか。

- ある → 1□ 肺結核 2□ 結核性胸膜炎 3□ 肺がん 4□ 慢性気管支炎
- 5□ じん肺(石綿肺等) 6□ 間質性肺炎 7□ 肺炎腫 8□ 原因不明の胸膜炎
- 9□ 原因不明の胸水 10□ その他の呼吸器の病気 ()
- なし

問6. 現在、何か症状がありますか。

- ある: 発熱・せき・呼吸困難・胸痛・その他()
- なし

問7. 家族で石綿関連疾患にかかった人はいいますか。

- ある: (続柄) 中皮腫・肺がん・石綿肺・その他()
- なし

問8. 喫煙の有無

- 現在も吸っている 1日平均 年間(通算 本)
- 過去に吸っていた 1日平均 年間 止めた時期 年前(通算 本)
- 普段は吸わないが、稀に吸うことがある(どんな時:)
- 吸ったことがない

問9. この数年の間に胸部X線検査を受けましたか。

- はい: 時期(年 月 日) 医療機関名() 結果()
- 検査は → 1□ 石綿健康診断で受けた 2□ 石綿健康診断以外で受けた()
- いいえ

問10. この数年の間に胸部CT検査を受けましたか。

- はい: 時期(年 月 日) 医療機関名() 結果()
- 検査は → 1□ 石綿健康診断で受けた 2□ 石綿健康診断以外で受けた()
- いいえ

問11. その他石綿ばく露があったと思われる時の周辺環境など、わかっていることがあれば記入してください。

問診者

別添1

★左のページ問1. (1) (2) (3) (4)のいずれかに○がついた場合お答え下さい。
受診者の家庭生活等についてあてはまる□に印をつけて記入ください。(複数回答可)

1□ 自分または家族が石綿を扱う仕事をしていました	年	月	日	通算	年
2□ 石綿製品の製造加工作業や内職が自宅であった。	年	月	日	通算	年
3□ 家族が石綿関連の仕事についており、道具や作業着、マスク等き家に持ち帰ったことがある。	年	月	日	通算	年
4□ 家庭で石綿製品を使って日曜大工等をしたことがある。	年	月	日	通算	年
5□ 石綿工場・鉱山の近くに住んでいたり、遊んでいたことがある。【地域: (都道府県市町村名)】	年	月	日	通算	年
6□ 造船所の近くに住んでいたり、遊んでいたことがある。【地域: (都道府県市町村名)】	年	月	日	通算	年
7□ 倉庫や建築材料の置場の近くに住んでいたり、遊んでいたことがある。【地域: (都道府県市町村名)】	年	月	日	通算	年
8□ 自動車修理工場の近くに住んでいたり、遊んでいたことがある。【地域: (都道府県市町村名)】	年	月	日	通算	年
9□ 幹線道路や大きな交差点の近くに住んでいたり、遊んでいたことがある。【地域: (都道府県市町村名)】	年	月	日	通算	年
10□ 吹きつけ石綿のある建物の部屋で、過ごしたことがある。	年	月	日	通算	年
11□ 工場敷地内に入入りしていたことがある。【状況:】	年	月	日	通算	年
12□ その他 ()	年	月	日	通算	年
13□ いずれもない。 14 □ わからない。	年	月	日	通算	年

★左のページ問2. 居住歴(出生時以降)についてご記入ください。

年	月	日	住所	備考
年	年	年		
年	年	年		
年	年	年		
年	年	年		
年	年	年		
年	年	年		
年	年	年		
年	年	年		

医療機関控（2枚目）

横浜市一般環境経路による石綿ばく露健康リスク調査

受 診 券

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

下記の方は、石綿ばく露の可能性があり、健康リスク調査事業に同意されましたので、よろしくご高診ください。なお、検診項目は下記の○印を付けた項目となっておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

No.			
フリガナ			生年 月日
氏名	(男・女)		T・S 年 月 日生 (歳)
住所	横浜市 区 町 TEL		

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 胸部X線検査 | 2. 胸部CT検査 |
| 3. その他() | |

平成 年 月 日

様

横浜市中区港町1-1

横浜市長 中 田 宏 印

問い合わせ先:横浜市健康福祉局保健事業課 045-671-2482

石綿ばく露健康リスク調査指定医療機関一覧

医療機関名	住所
財団法人神奈川県予防医学協会	横浜市中区日本大通 58 日本大通ビル
社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院	横浜市鶴見区下末吉 3-6-1
独立行政法人労働者健康福祉機構 横浜労災病院	横浜市港北区小机町 3211
神奈川県循環器呼吸器病センター	横浜市金沢区富岡東 6-16-1
公立大学法人横浜市立大学附属病院	横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市石綿ばく露健康リスク調査専門委員会委員名簿

平成21年3月31日現在

委員長	みうら ひろたろう 三浦 溥太郎	横須賀市立うわまち病院 副病院長
副委員長	もりなが けんじ 森永 謙二	元 独立行政法人労働安全衛生総合研究所 特任部長
副委員長	くりはら やすゆき 栗原 泰之	聖マリアンナ医科大学 放射線医学 准教授
副委員長	たかやま しげみつ 高山 重光	管工業健康保険組合健康管理センター 所長
委員	やぎはし くにひろ 八木橋 国博	聖マリアンナ医科大学 放射線医学教室 助教 (聖マリアンナ医科大学病院放射線科 医長)
委員	おはら いちよう 小原 一葉	自衛隊横須賀病院 検査研究課 課長
委員	たなか としひこ 田中 利彦	財団法人神奈川県予防医学協会 放射線科部長
委員	しみず くにひこ 清水 邦彦	社会福祉法人恩師財団済生会横浜市東部病院 呼吸器内科部長
委員	もりかわ てつゆき 森川 哲行	独立行政法人労働者健康福祉機構 横浜労災病院 呼吸器科部長
委員	たかはし ひろし 高橋 宏	神奈川県立循環器呼吸器病センター 副院長
委員	しのはら たけし 篠原 岳	神奈川県立循環器呼吸器病センター 呼吸器科医長
委員	わたぬき ゆうじ 綿貫 祐司	公立大学法人横浜市立大学付属病院 呼吸器内科部長